



花巣蜂

は ち す は な

令和7年9月17日 特別号
新潟市立赤塚中学校
全校生徒149名 男子75名 女子74名
TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313
E-mail j703akatsuka@city-niigata.ed.jp

一人一人の個性が輝いた風輝祭!!

9月13日(土)、『百花繚乱 ～燃やせ魂 華となれ～』のスローガンのもと、第30回風輝祭が実施されました。今年度は、赤軍『紅焰狼』(こうえんろう)と青軍『蒼鷹』(そうよう)の2軍に分かれ、チームリーダーの〇〇〇〇さん(赤)・〇〇〇〇さん(青)、応援団長の〇〇〇〇さん(赤)・〇〇〇〇さん(青)、副団長の〇〇〇〇さん(赤)・〇〇〇〇さん(青)を中心に、競技の部と応援の部の優勝を目指し、力の限りを発揮しました。最後まであきらめずに、すべての生徒が全力で競技や応援、係活動に取り組みました。

保護者やご家族、地域の皆さまには、ご多用のところにも関わらず多数ご来場いただき、生徒たちが躍動する姿、汗と涙の結晶ともいえる努力の成果をご覧いただきましたことに、心より感謝申し上げます。また、生徒たちが精一杯取り組む姿に大きなご声援をいただき、大変ありがとうございました。

百花繚乱 ～燃やせ魂 華となれ～

風輝祭スローガン



両軍団長による選手宣誓



青軍パフォーマンス



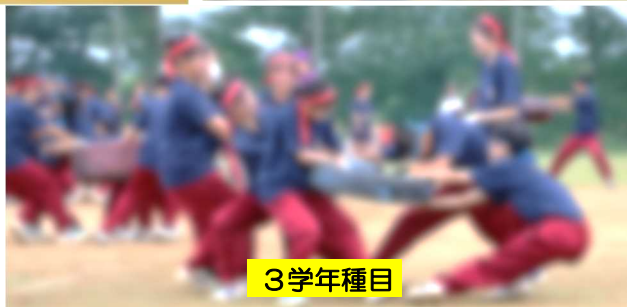
赤軍パフォーマンス



生徒会長のあいさつ



徒競走



3学年種目



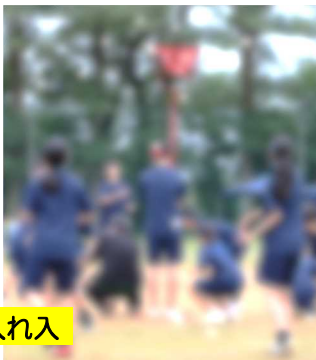
1 学年種目



2 学年種目



玉入れ入



男子リレー



女子リレー



綱 引 き



表彰式



3 年生 感動をありがとう



教育実習生からインタビューに答えてもらいました！

①中学校の思い出 ②高校の思い出 ③大学で学んでいること ④風輝祭の感想

〇〇〇〇先生（学年所属：1 年生・教科：理科）

- ①→中学 1 年生の時は身長が 145 cm だったけど、卒業する時には 30 cm も伸びたことが自分でもびっくりでした。
- ②→野球部で、ご飯をたくさん食べるように言われていました。授業の間に 6 個のおにぎりとか大きなタッパのお弁当を毎日食べました。
- ③→教育学部で、理科の歴史や指導方法などについて学んでいます。
- ④→みなさんが本気で声を出したり、競技に取り組んでいる姿を見て、自然と自分も元気をもらっていました。とても素敵な姿に感謝です。

〇〇〇〇先生（学年所属：2 年生・教科：保健体育）

- ①→体育祭です。仲間と協力し、競技に応援に、ダンスに、すべてのことに本気になれた時間が最高に楽しかったです。
- ②→部活動です。男子バスケットボール部に所属していました。仲間と共に目標に向かって、全力を注いだ時間が青春でした。
- ③→教育やスポーツ心理学などを学んでいます。
- ④→競技では、どの種目も白熱した戦いで、見ていて非常に興奮しました。ダンスでは、両軍ともに笑顔で楽しそうに踊っている姿がとても素敵でした。最高の風輝祭を見せてくれて感謝です。

令和7年度 前期学校評価(保護者アンケート)の結果



7月に実施しました学校評価に関わるアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

前回の学校だよりに引き続き、保護者アンケートの結果について報告いたします。保護者の皆さまからは、貴重なご意見・ご要望を頂戴いたしました。いただいたご意見・ご要望について、その主な内容に関する具体的な対策についても掲載いたしております。

これらの内容にもとづき、今後の教育活動の工夫と改善を図ってまいります。

今後とも、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。



項目	質問内容	今年度 ※1 肯定的 評価割合	※2 単年度 評価	※3 前年同期 比較評価	前年同期 肯定的 評価割合
1	学校の取組や教育方針が学校のホームページや各種たよりなどでよく分かる。	97.8%	◎	○	91.2%
2	地域と学校パートナーシップ事業やコミュニティ・スクールについて内容をよく知っている。	64.5%	▲	○	61.2%
3	学校は、お子さんの困り感に気づき、配慮・支援している。	96.7%	◎	○	88.2%
4	全体として赤塚中学校の教育に満足している。	94.6%	◎	○	89.7%
5	お子さんと中学校卒業後の進路や将来の夢についてよく話している。	76.3%	△	●	89.7%
6	お子さんは自然環境保全の意識が高いと思う。	68.8%	▲	△	69.1%
7	お子さんは思いやりの心や仲間を大切にする心が育っていると思う。	96.7%	◎	△	98.5%
8	お子さんはあいさつや服装、時間を守るといった基本的な生活習慣が身についていると思う。	87.1%	○	●	91.1%
9	お子さんを通じて、学校からの健康診断結果のお知らせや保健だよりを目を通してしている。	94.7%	◎	△	95.6%
10	学校からの検診結果や保健だよりなどをもとに、必要な治療や検査を受けるなど、日頃から健康づくりをしている。	89.2%	○	△	89.7%
11	お子さんとの会話などで、お子さんは先生に相談しやすいと感じていると思う。	80.7%	○	●	85.3%
12	スマホやゲーム機器などの利用で、お子さんとの約束事がある。	79.6%	△	△	79.4%
13	お子さんは家庭において何かしらの役割(家庭での手伝いや仕事)を担っている。	59.1%	●	○	54.4%
14	お子さんはどんな理由でもいじめはよくないと考えている。	98.9%	◎	△	100%
15	お子さんは朝食を毎日しっかりと食べている。	94.6%	◎	△	92.7%
16	お子さんの学校生活は楽しく充実していると感じる。	97.8%	◎	○	94.1%
17	前期のPTA 学年行事(個別懇談会なども含む)に参加した。	100%	◎	△	100%

※1「肯定的評価割合」＝ 回答1「思う」・回答2「やや思う」等の合計

※2「単年度評価」＝ 90%以上:◎、90%～80%:○、80%～70%:△、70%～60%:▲、60%未満:●

※3「前年度比較評価」＝ +2%～:○、±2%:△、-2%～:●

令和7度 前期学校評価(保護者アンケート)自由記述への回答

1 上級生の生活の乱れが見られてとても気になる。一部の生徒だけであり、先生方も指導に苦労していると思うが、対策が必要ではないか。

まずは、ご心配いただいていることに関して、お礼を申し上げます。

ご指摘いただいたことについて、生活や身だしなみに気になる点がみられる生徒に対して、管理職を中心とする生徒指導体制のもと、当該学年部や生徒指導部の職員をはじめ、全職員での情報共有と連携、具体的な対応について協議しています。また、ご家庭における協力も重要と捉え、ご家庭への相談や面談の機会を設けるなどしています。必要に応じて、外部専門機関とも連絡をとり相談させていただくとともに、指導を受けながら具体的な対応に取り組んでおります。

赤塚中学校では、特別な配慮を必要としない生徒は一人もないとの認識のもと、学校内外の組織を有効に活用して生徒のサポートにあたっております。保護者の皆さまにおかれましても、共に生徒を支えるパートナーとして、ご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

2 子どもが、ある教科担任の先生に対してよい印象をいただいておらず、その教科の学習で、わからないところをわかつてやる意欲をもてずにいる。その教科の授業を気持ちよく受けることができるよう、授業の雰囲気や生徒に対する配慮を心掛けてほしい。

まずは、ご心配いただいていることに関して、お詫び申し上げます。

現在、新潟市内のすべての学校において、『教職員とこどもの笑顔のために』と題して、月ごとにチェックリストを利用した教師自身の自己客観視と学校全体での振り返りを実施しています。

ご指摘いただいた点について、教師の言葉づかいや対応する態度に、生徒に威圧感を与えたり、委縮させてしまったりする点があったと認識いたしました。教師は生徒のよきロールモデルであり、生徒の言語環境、心の成長をよりよいものにしていく責務があると考え、上記の振り返りとともにご指摘を全職員で真摯に共有してまいります。気になる点がございましたら、いつでも学校職員にご相談ください。

3 携帯の使い方に気をつけてほしいが、なかなかうまくできていない。今後の進級に向けて、やるべきことが意識できていないと感じている。

同じようなことで心配されているご家庭が多いと思います。下記の書籍に、「スマホに夢中の子どもをどうする？」と題して参考になると思われる部分がありました。ご紹介させていただきます。

「家庭での携帯電話、スマートフォンのあり方についてぜひ考えてみてほしい。もし、食事中など、家族がコミュニケーションしている大切な時間に親が携帯電話、スマートフォンを見ていたしたら、子どももその姿をまねる。携帯電話、スマートフォンは、親世代にとっても魅力的なものである。しかし、よほど気をつけないと、携帯電話、スマートフォンに私たちの生活をコントロールされてしまうようになる。子どもに与えるのであれば、これらの機器とどうつき合っていくのか、しっかりと話し合う必要がある。ルールをつくり、何度も親子で話し合うのがいい」というものです。そして、ある高校の先生が高校生の娘さんと取り交わしたルールが掲載されています。

1. 携帯電話はあくまでも補助的なものだと思えること。
2. 基本的な使用料のみ家計で認められていると思えること。
3. 携帯電話はワンセグ、ネット・ゲームをする道具ではないと思えること。
4. 高校生の基本的生活に携帯電話は本来不必要なものだと思えること。
5. これが我が家の方針であり、あなたは私たちにとっての大切な家族であると思えること。

<引用文献：『なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか』山本崇雄著 日経 BP>

ご意見ありがとうございました。ご指摘いただいた点を、今後の学校運営に生かしてまいります。引き続き、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。